

踏まね踏まれても生き返る

NO.9 2024.6.25

編集：発行 木村松夫

090-8646-9757

matsuokimura@gmail.com

ざっそう つうしん いたばし雑草通信

メール発信のみの情報紙です。無料購読希望の方はメールでお申込みください。鮮明画像のPDFでお送りします。

中台の武蔵野台地崖線 その東端で考える

性質	種名	畠中遺跡公園	崖の法面及び坂道
1	自生草本	アカバナユウゲショウ	●
2	実生木	アカメガシワ	●
3	実生木	アキニレ	●
4	自生草本	アメリカイヌホウズキ	●
5	植栽木	イチヨウ	●
6	自生草本	イヌタデ	●
7	自生草本	イヌムギ	●
8	自生草本	イノコズチ	●
9	実生木	エノキ	●
10	自生草本	エノログサ	●
11	実生木	エンジュ	●
12	自生草本	オオバコ	●
13	植栽木	オオムラサキ	●
14	自生草本	オシロイバナ	●
15	自生草本	オッタチカタバミ	●
16	自生草本	カゼクサ	●
17	自生草本	カタバミ	●
18	自生草本	カモジグサ	●
19	自生草本	ギシギシ	●
20	植栽木	キンモクセイ	●
21	自生草本	クズ	●
22	実生木	ケヤキ	●
23	自生草本	コセンダングサ	●
24	自生草本	コニシキソウ	●
25	自生草本	コヒルガオ	●
26	自生草本	チチコグサモドキ	●
27	植栽木	サルスベリ	●
28	自生草本	スギナ	●
29	自生草本	シマスズメノヒエ	●
30	自生草本	スズメノカタビラ	●
31	自生草本	セイタカアワダチソウ	●
32	自生草本	ソバ	●
33	園芸逸出	タチアオイ	●
34	自生草本	タンポポ(各種)	●
35	植栽木	トウネズミモチ	●
36	自生草本	ドクダミ	●
37	植栽木	ツツジの仲間	●
38	植栽木	ツバキ	●
39	自生草本	ツユクサ	●
40	自生草本	ノゲシ	●
41	園芸植栽	ハアザミ	●
42	植栽木	ハナミズキ	●
43	自生草本	ヒメジョオン	●
44	自生草本	ヘクソカズラ	●
45	植栽木	マテバシイ	●
46	自生草本	ムラサキカタバミ	●
47	自生草本	メヒシバ	●
48	自生草本	ヤブガラシ	●
49	実生木	ヤマグワ	●
50	自生草本	ヨモギ	●
51	園芸逸出	ランタナ	●
	種数計	28	36

1977年開設という長い歴史があっても、現在でも全国有数の大規模団地「中台サンシティ」は武蔵野台地崖線のみどりを残した団地としても知られています。その東側の台地崖斜面には猫の額ほどの広さですが昔の地面が残っています(右写真①)。

高速道路側から台地の上まで高低差は20mはあるでしょうか、その昔の地面を横目に見ながら長い坂道(同②→③)を登っていくと「畠中遺跡」の公園になります(同④)。旧石器時代からの遺跡が折り重なって発見された場所ですが、この丘の上は太古の昔から人々が住みやすい場所だったのでしょう。

この近くに行ったついでに、この場所の植物を記録しました。左の表のように全部で51種。見た目よりもたくさんの植物が生きていました。それも、遺跡の公園よりも坂の下から公園に行くまでの崖の法面と道路のほうが多いことが分かりました。草刈りの時期にもよるのですが、一般的には公園の方が人の手がよく入ります。でも、放置されている道路の方にたくさんの植物が生きているというのは重要な事実です。「みどり豊かなまち」を作りたいと思ったら、これまで「雑草」として排除してきた野草をうまく管理していくことが必要であるということに、役所や住民はいつ気が付くのでしょうか？



熱中症の季節になりました。侮(あなど)るなかれ！ 木村の熱中症体験をイメージ再現してみました

2022年の7月、いつものように赤塚公園の植物観察・記録活動で城址の小径から本丸の広場に出て、「ああ、今日は暑いねえ」と空

を見上げたところ目に入ってくる景色のコントラストが強くなり、さらに明暗の差が激しくなってきました。次の瞬間、視界

がぐるりと回転、上下が逆さまさかになると同時に色も補色に反転、ネガフィルムのような景色に変わってきました。

さらに・・・

もともと青い空なのに、赤みが増してきて、視界はグラグラ、ひどい目眩(めまい)に襲われました。この間数秒、一瞬のことでした。その場にしゃがんで発作はすぐに収まったので事なきを得たのですが、近くの木陰のベンチで休みました。

もちろん観察活動はやめて、守る会の堀田さんに西高島平駅まで付き添ってもらって帰宅しました。

熱中症にも様々な症状あり！

このケースでは、暑さによって脳の視神経がおかしくなり、さらに三半規管もおかしくなったものと思われます。昨年夏は、連れ合いの実家に帰省中、義兄の車が高速道路でダウン。炎暑の中を高速道路の路肩を出口まで命がけの歩行。ようやくタクシーを呼んで新幹線の駅まで。そのまま東京に帰りましたが、翌朝になってひどい頭痛に悩まされました。

虚弱児だった子ども時代では、夏休みに父が荒川土手へ植物採集に連れていってくれました。炎天下ですぐに頭痛になって、よく父を悩ませたものです。当時は「日射病」と言われました。

熱中症は、めまい、頭痛だけでなく、吐き気、けいれんなど様々な身体の異変が現れます。ともかく「やばい」と思ったら、即行動中止！ みなさまには、くれぐれもご用心ください。